

両立のコツは「心配しないこと」、専門分野の第一線で働くために学び続けるという選択肢。

新田 信雄(NNフィナンシャルアドバイス株式会社)

会社概要

証券会社での経験とMBA、MOTの資格を活かし独立。企業型確定拠出型年金など、ファイナンシャルアドバイザーとして、クライアントの思いに届くアドバイスを行っている。



代表取締役

新田 信雄 (36才)
NOBUO NITTA

- 2018年／県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)入学
在学中に新規事業開発
- 2020年／MBA取得
- 2020年／起業



曖昧ではない助言をさしあげたかった。」クライアントに真摯に向き合うこの姿勢が、新田氏が実践する「働くことは学び続けること」というライフスタイルとなった。

学び続けることを決めたのは、お客様の悩みに応えたかったから。

経営学全般を学び、企業の存続と発展のための経営管理手法を身に付ける経営学修士号・MBA。技術開発を事業へと展開し、経済的な価値を創出する経営手法を学ぶ技術経営修士号・MOT。企業の人財戦略として重視されるこの両方の修士号を、証券会社に勤務しながら取得したのが、ファイナンシャルアドバイザーの新田信雄氏である。社会人となってからも大学院で学び続けたのは、「お客様が悩みを話してくださったのに『そうなんです』で終わってしまうのが嫌だった」からというシンプルな思いからだ。「専門的な知識を元にアドバイスをするのがファイナンシャルアドバイザーの仕事です。でも実際は、お客様との話題は多岐に渡り、自分の専門では無い悩みを打ち明けられる場合も多い。どんな時でも

製造業から医療経営まで、重ねる学びが仕事に深みと信頼をもたらす。

大学院を卒業後、野村證券に入社。自身が担当した仕事の変遷と共に、ここから新田氏の学びはスタートする。入社してすぐに認識したのは、広島県の産業では製造業の割合が多いことから、クライアントの多くも必然的に製造業の経営者であるということだった。経営の支援業務を行う中で「クライアントのために、製造業の経営について何を相談されても応えたい」と考えるようになった新田氏は、技術を効果的に活用した経営について学ぶことができる山口大学大学院技術経営研究科へ入学。同期の多くが実際に経営者自身という環境の中、MOTを取得した。その後、税務に関するコンサルティングも多くなり、税法について専門的に学ぼうと広島大学大学院に入学、単位も取得している。

新田氏にとって3つめの学びの場となったのが、広島県未来チャレンジ資金の支給を受けての県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)だった。当時新たに担当することになったのは、医療機関。クライアントとの会話はおのずと病院の経営についてとなったが、医療法人独自の専門的な知識が必要であることから、医療経営について学ぶ必要性をすぐに痛感した。さらに新田氏が理解したのは、国の制度に左右される医療経営は、課題を抱えたとしても経営努力のみでは補えないばかりか、病

院内には経営のプロが存在しないということだった。さらに「地域の診療所では医師の高齢化が進み、医療継承の問題も根深い。何重にも重なる課題を抱えた医療経営についても、専門的に学ぶことができるHBMSで学位を取得して、病院にとって『いないと困る』アドバイザーになろうと思いました。」

学び続ける中で学費は大きな課題となっていたが、広島県未来チャレンジ資金を利用することで負担も軽減でき、安心して学問にのぞむことができた。医療制度や保険制度、点数制度の変遷や、現在の医療経営が抱える多様な課題についてしっかりと知識を着実に身につけると並行して、社内では医療経営研究会を牽引。経済や財務のテーマだけでなく、医療継承やセクハラ・パワハラ対策など、医療経営者が本当に知りたいと思っているテーマのセミナーを次々に開催するなど、学んだ知識をフルに活用する機会に恵まれた。学びに裏付けられた「クライアント中心」の実践的なサポートは、口座開設などの実績として、そしてクライアントからの深い信頼として実を結び、会社への大いなる貢献となった。



手にした2つの学位で独立。一石三鳥でも足りないメリットが得られる大学院進学。

HBMS時代に授業で提案した企業型確定拠出年金にビジネスチャンスを見出し独立、現在はNNフィナンシャルアドバイス株式会社として事業を展開する新田氏。MBAとMOTの豊富な知識と、証券会社での多彩な経験を武器に、コロナ禍をもチャンスに転換し確実に業績を伸ばしているが「クライアントのために」という誠実な姿勢は、「働くことは学び続けること」と決めた新入社員の頃のままで。

新田氏によれば、学業と仕事を両立させるコツは「とにかく気負わないこと」なのだ。「社会人大学院の

授業は週末や夜に開講し、そもそも働きながら学べるようなカリキュラムになっているんです。大学院で集中して勉強すれば大丈夫、『両立できるかどうか』なんて心配する必要はありません。」と力強い。「仕事と関連のある分野を選べば、仕事そのまま論文になる。スキルを磨くことができるだけでなく、会社へ貢献もできて、学位までついてくる。社会に出ても学ぼうという意欲にあふれた志高い仲間たちとともに学ぶことで得る、素晴らしい絆や人脈もある。仕事と大学院の両立は、一石二鳥や三鳥では足りないくらい、メリットがあるんです。」

広島県未来チャレンジ資金ご利用希望の方へ

みなさんが想像しているほど、大学院と仕事の両立は難しいものではありません。独立を考えている人なら、夢に向けての自信につながるし、考えていない人には社内での地位の確立につながります。上手に支援制度を活用して、「知りたいことを学ぶために研修を受けに行く、その先が大学院なんだ」と気負わずチャレンジして欲しいと思います。